

四日市市立神前小学校

校長 市川 清博

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

「コミュニティかんざき拡大運営委員会」を年3回開催して教育懇談会を行い、地域の自治会長・民生委員児童委員・主任児童委員をはじめ、神子連代表、地域マネージャーにも出席いただきました。その中で、地域における児童の様子を交流し、地域側から見て何が必要な取り組みになるか、ご意見をいただけてきました。

また、神前小学校の学校づくりビジョンの「地域に学ぶ・人とつながる取組」を柱として、地域とともに歩む「地域立」の学校づくり推進を活動のねらいとして取り組んでいます。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

・地域の教育力を生かした特色ある教育活動についての実践事例

地域のつながりを大切にした教育活動が推進していけるよう、コミュニティかんざき運営委員さんをはじめ多くの地域の方にゲストティーチャーとして支援していただきました。

5年生の米作りでは、苗づくり・田植え・稲刈り・餅つき等において、コミュニティかんざき運営委員会の方に準備の段階からお手伝いいただきました。毎年行っている活動でもあり、運営委員のみなさんが手を出すところ・指導してくださるところと、子どもたちが自分たちでやるべきところを分けて対応していただきました。このように教育活動が円滑に行われるよう支援していただいています。



1年生では学校たんけんから始まり、神前のまちをたんけんしました。神前地区にある大日山・神前神社・保曾井神社・寺方児童集会所などに出かけ、自分たちの地域にどんなところがあるのかを知り、そこで出会う人に話を聞いて今後の「地域に学ぶ・人とつながる取組」の礎を作ってきました。

2年生の「地域の人から学ぼう」の活動でも、地域に住む方との出会いから、地域の伝統や文化についてふれ、いつまでも大切に引き継いでいきたいという思いも感じることができました。



・地域ボランティアの活動を学校運営や教育活動に反映した事例



年2回、「絵本の広場」を開催してもらっています。一週間の期間、多目的室を利用して子どもたちが自由にゆったりと絵本に出会える空間を作っていただき、休み時間や授業の一部でも利用しています。毎回子どもたちに大好評です。家庭学習定着週間のアンケートの結果からも、子どもたちの本を読む時間が多くなってきていることや絵本が好きな子も増えてきていることが伺えます。

・環境整備作業を年間通して行い、教育活動を側面から支える活動を行う事例

6月・7月・10月・12月・2月に除草作業や校舎内外の清掃活動を今年度も行っていただきました。これらの日以外にも委員の方を中心に樹木の剪定作業や除草作業を行ってもらったり、年間を通してトイレ掃除ボランティアを行ってもらったりしています。こうした活動をしてくださる運営委員の方や地域の方、保護者の方がみえることに子どもたちが気づき、またその方のお話を聞いたりしながら、こうした活動に対して感謝の思いを子どもたちが持つことができました。



・運営委員会の方の活動が地域に広がっている事例

「コミュニティかんざき拡大運営委員会」の中で子どもたちの活動や様子を話し合い、教育活動に反映する協力体制を維持することとしました。その結果、自治会長・民生委員児童委員・主任児童委員を中心に子どもたちに対する支援が広がっています。自治会長さんや運営委員の方が「先生には子どもたちの教育活動に向かう時間をたくさん作って欲しい。」という思いで、学校のプール周りや運動場の除草作業を行って



もらっています。また、仙寿会の方たちや学校開放施設利用団体の方も同じ思いで除草作業をしてくださっています。今後もこの拡大運営委員会は継続し、多くの方に学校へ来ていただき、子どもたちを応援していただければと考えています。

また、子どもの安全を確保するため、一昨年度から仙寿会の方たちに通学路と下校時間を知らせて下校時の見守りに協力をしていただいています。

さらに、コミュニティーの委員や民生委員、地域在住の大学生が指導者となって、学習習慣の定着や学習意欲の向上を目的とする「地域子ども教室」を年間9回（土曜日の午前）開催し、毎回15人ほどの参加者がありました。

(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

・学校づくりビジョンの推進



本年度も「保護者・地域とともに」を進めるために「人とつながる」をテーマに、人権総合学習（生活科）に取り組みました。各学年がコミュニティーかんざき運営委員や地域の方に協力をいただき、取組を進めることができました。そこで学んだことを全校のなかまにはもちろん、保護者・地域の方にも伝えようと人権集会を行いました。その発表を見られて「子どもたちが大きな声で発表している。このような機会はとても大切であり、力となっていくはずだ。」「学校が子どもたちを地域の中に出してく

れてありがたい。登校、下校中に出会うと声をかけてくれる。」「神前地区の伝統文化を次世代に伝えていくことが大切であると思っているので、このような子どもたちの発表は続けていってほしい。」などの意見・感想をたくさんいただきました。発表では随所に「コミュニティーかんざきのみなさんに」という言葉や聞き取りをさせていただいた地域の方の名前が入り、「地域に学ぶ・人（地域）とつながる取組」が進められたことを感じました。

・地域活動と児童の橋渡しを行う。

神前地区には運動会・文化祭・里山体験・卒業記念植樹・冬のウィンターウォークラリー（地域めぐり）・同推協のつどいなど、児童が参加しやすいように企画されている行事がたくさんあります。コミュニティーかんざき運営委員の方が「地域に学ぶ・人とつながる」視点で、児童の参加のあり方を地域の会議でも協議していただき、地域活動の中でも児童が活躍できる場を作ってください



います。地域の伝統文化である猪子や行燈祭り、獅子舞といった行事についても、その参加の意義をコミュニティーかんざき運営委員の方から教えてもらったりして、参加して楽しい活動というだけでなく、神前の町を大切にする気持ちを育てる活動となってきています。

3 今後に向けて

課題に対する改善の方向性や今後の展望

本校は今までも地域の方に協力をいただき、特色のある授業を行い、ボランティア活動も活発な学校です。また、地域と学校が双方向に協力し合う関係もあり、互いになければならないパートナーとなっています。「コミュニティーかんざき運営委員会」の方向性については、今までの活動の継続・発展と運営協議会においても確認されました。

コミュニティーかんざき運営委員の方が呼びかけ、実際に活動に参加し、子どもたちの教育活動を支援して下さる姿を見て、保護者の中にも学校行事に協力して下さる方やボランティア活動に参加して下さる方が増えてきています。こうした学校への応援団の輪を広げていくためには広報活動も必要であり、学校だより・ホームページでの発信やメールなどを活用した事前の呼びかけも効果的であると考えています。また、お世話になった委員さんには引き続きの応援をお願いすると同時に、応援していただく姿を次の方にバトンタッチしていくことも視野に入れながら、子どもたちのためにさらに発展するように進めていきたいと思えます。

別紙B

平成29年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立神前小学校

委員長 竹本 直弘

校長 市川 清博

月	協議会の開催	活動内容 (学校行事関連含む)
4	13日 コミュニティスクール準備会 20日 苗づくり (5年生)	活動計画・米作り・整備作業等の打合せ 苗づくり指導 (5年生)
5	11日 田植え (5年生) 22日 苗植え (2年生) 25日 運営協議会	田植え指導 (5年生) 畑：苗植え指導 (2年生) 学校づくりビジョン 今年度の活動方針・活動内容について
6	1日 環境ボランティア活動 (終了後、打合せ) 24日 拡大運営委員会	除草作業 コミュニティかんだきの活動について 学校公開(人権集会)での子どもの姿について コミュニティかんだきの活動について
7	3日 環境ボランティア活動 (終了後、打合せ)	除草作業 コミュニティかんだきの活動について
8		
9	20日 稲刈り (5年生)	稲刈り指導 (5年生)
10	2日 環境ボランティア活動 (終了後、打合せ)	除草作業・整備作業 コミュニティかんだきの活動について
11	12日 拡大運営委員会	コミュニティかんだきの活動報告と今後の計画・活動について 各委員より (児童の様子、各会の活動報告等)
12	1日 環境ボランティア活動 (終了後、打合せ) 12日 餅つき (5年生)	除草作業・整備作業・樹木剪定作業 餅つき (5年生)・コミュニティかんだきの活動について 餅つき準備・指導活動 (5年生)
1		
2	1日 環境ボランティア活動 (終了後、打合せ) 10日 拡大運営委員会	校内清掃作業・整備作業・樹木剪定作業 コミュニティかんだきの活動総括に向けて 学校評価アンケート結果について 学校公開(人権集会)や地域での子どもの姿について
3	8日 運営協議会	1年間の総括